

イルミネーション・IN・なかつこ



器によるミニコンサートが行われ、音楽に合わせて全員でリズムを取るなど楽しい演奏でした。

地元婦人有志によるぜんざいのふるまいで、寒さで冷え切った体を温めた後、あたりが暗くなった頃にみんなで点灯のカウントダウンを行い、イルミネーションに明かりが灯されると、大きな歓声が上がっていました。

12月23日、「第2回イルミネーション・IN・なかつこ」が中津川小学校特設会場で開催されました。

このイベントは、昨年11月下旬から中津川の夜景を美しく灯していたイルミネーションのメインイベントとして実施されたものです。

オープニングでは、中津川小学校6年生によるハンドベルの演奏が披露され、わずか1週間の練習で仕上げたとは思えないほどすばらしい演奏でした。

また、今年も地元の松下友美さんが参加する海外青年協力隊OBで結成された「ロスポンチョス」による南米楽



読み終わったら故郷を離れている

幻想的な灯火 『竹とろう』で地域おこし

12月23日から25日にかけて、湯田の県道沿い歩道で、「みやんじょ温泉竹ほたる」が幻想的な灯りを楽しませてくれました。

これは、宮之城温泉街の活性化を図ろうと、約60本の「竹とろう」を湯田区や温泉旅館組合、温泉通り会、温泉観光協会、がらつば会、さつま町商工会青年部などが協力して設置されたものです。

光源は「ろうそく」で、電飾のイルミネーションとは異なる光の美しさに、多くの見物客が訪れました。

このイベントは、竹切りから作業を行うため、多くの方々の労力が必要で、今年も試験的に行われました。

来年は体制を整えて、1万本を目標に飾り付けをされる予定で、本町の新たな観光資源になることが期待されています。



家族や知人に送りましょう